

SWGでのWebex Meeting Accessの設定

内容

[はじめに](#)

[背景](#)

[新規 – オンライン会議カテゴリ](#)

[手動設定](#)

[アプリケーション設定を使用してWebExを許可する方法について教えてください。](#)

はじめに

このドキュメントでは、Umbrella Secure Web Gateway(SWG)を使用してWebExにアクセスする方法について説明します。

背景

Cisco WebEx Meetingは、Umbrellaポリシーの設定に応じてSWGで実行すると問題が発生する可能性があるWeb会議アプリケーションです。オーディオ接続の問題などの問題が発生する可能性があります。この記事では、Umbrellaの設定方法について説明します。



注:WebExで使用されるドメインとIPアドレス (CIDR範囲) は動的で、予告なく変更される可能性があります。

Webexで使用されるドメインの現在のリストは、次の場所にあります。

https://help.webex.com/en-us/article/WBX000028782/Network-Requirements-for-Webex-Services#id_135010

Webexで使用されるCIDR範囲の現在のリストは、次の場所にあります。

https://help.webex.com/en-us/article/WBX000028782/Network-Requirements-for-Webex-Services#id_135011

新規 – オンライン会議カテゴリ

Umbrellaは、WebExに関連付けられているIPアドレスを「オンラインミーティング」カテゴリに分類しました。ポリシーに従ってWebExミーティングの音声を許可するには、「オンラインミー

ディング」カテゴリを許可します。

手動の設定オプションの詳細については、この記事を参照してください。

手動設定

- 推奨：Webexをバイパス：
 - Umbrellaダッシュボード → Deployments → Domain Management → External Domains & IPsで、すべてのWebex関連ドメインとIPアドレス範囲を追加します。
 - Cloud Delivered Firewall(CDFW)機能を使用している場合は、WebexドメインとIPアドレスに関連するトラフィックがIPsecデバイスのトンネルに入るのを除外します。

このトラフィックが復号されると、Webexは機能しません。さらに、遅延に敏感なWebexトラフィックの性質により、このトラフィックをSWGでプロキシすることは推奨されません。

添付ファイルのcidr_webex.csvとdomains_webex.csvには、2022年4月現在のWebex関連のCIDR範囲とドメイン名が含まれており、Umbrellaにアップロードできます。

- 最小：ポリシーでWebexを許可：
 - WebexのIPとドメインに関連する包括的な「許可」宛先リストに追加する
 - Webex関連のドメインをSelective Decryption List (SPD；選択復号リスト)に追加して、このトラフィックが復号されないようにします。（デフォルトではIPアドレスは復号化されないため、追加する必要はありません）。

アプリケーション設定を使用してWebExを許可する方法について教えてください。

Umbrellaアプリケーション設定は、ドメインのみを使用して機能します。IPアドレスを処理することはできません。その結果、WebExで使用されるIPアドレスを制御できません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。